

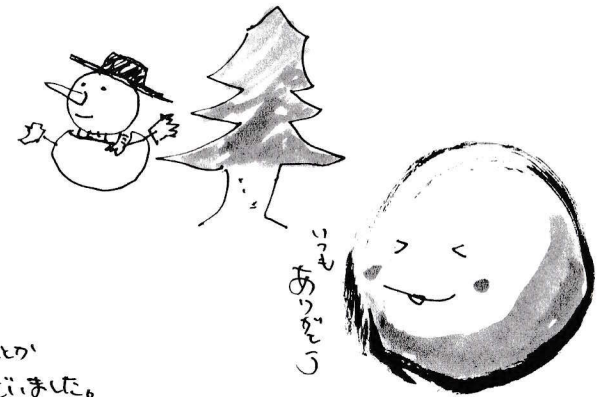
# おっちゃん だよ

2017.12月号  
Vol.101

株式会社 ISO  
～いっしょに保険を選びましょう～  
余助 康弘

090-1638-5351  
金沢オフィス 小松オフィス  
金沢市権利17-50-1 小松市今江077-76  
87ビル3F

今年ものこりころ あじ数日になりました。  
みなさまにして どのような一年だった  
でしょうか。私事、いろいろのことがあった  
年になりました。小松オフィスの移転。  
会社メンバーの増員、息子の寮生活。  
娘の受験(出陣中) ほかいろいろあった  
年になりましたが、みなさまのお力もあり、なんとか  
無事一年が経んぞうです。ありがとうございます。  
今後ともどうぞ よろしくお厚儀を致します。♡



余助

## 男の人に聞いてほしいお話 古

ある産婦人科で行われる父親教室の体験学習でテストが配られた。  
看護師さんが「このテストを30分で解いて下さい」と父親たちに言った。  
だが、看護師が父親達に話しかけた。電話を始めたりと邪魔をします。  
結局、そのテストは誰も解けませんでした。イラつく父親たちに看護師はこう言  
いました。「予定をこなしたくても邪魔が入って達成感も味わえない。それが  
赤ん坊を産める母親の気持ちなのです」父親たちは絶句しました。

お母さん、妻、女の人すべてに「ありがとう」 できね♡

どうぞ  
はい お母もおおげんげさい  
♡

## 会社の仲間のお話

お客様業のライフプラン(将来予測)を考察ある機会が与えられた。そこでは子供の教育に  
ついて、教育費はいくらだろうとか、どのような進路をたじろのかといった事が話題にあがり  
自分も子供の時はどうだったかな...。両親は私が15歳の時から塾に通わせてくれ  
あー眠いなぁと思いつつ、勉強を始めたのを覚えています。でも、私は勉強が苦手で  
そこで、できた友人と話すのが塾に通っていました。成績も落ちていきました。  
あの寒い時期だったと思いつつ、塾の帰りに母が私を車で迎えに来てくれました。  
私の親は当時塗装店を営んでおり、母は現場等へ行く時に使う、古い営業車で  
迎えに来てました。私はお世辞にもキレイと言えない営業車に皆の前で乗るのが恥ずかしくて  
すごく嫌だったのを覚えています。まるで親が塗装業をしている車を恥ずかしく思うような...  
私はいわゆるダメな子でした。小さい中、乗用車が軽かたけで迎えに行かなくて、母は  
営業車を運転して来てくれたのだと思いつつ、塾のお金だって、長い期間、毎月結構かかると  
思います。私は周りの目や体裁ばかり気にして、自分はお金を使わなくていい、親の優しさに  
気がくちくちありませんでした。子供ってそんなものでしょうか？ いや、やはり私が甘えていたのだと  
思います。恥ずかしいのは古い車ではなく、私自身でした。あの時、なんで大切な車に何かをもらって  
くれたのだらう。今でも時々ふと後悔しているかもしれませんが、そして改めて営業車で迎えに  
来てくれた母にこのことを思いつつ、「ごめんねさい」と「ありがとう」